

⑥職業別自殺者数の推移 [単年の変化]

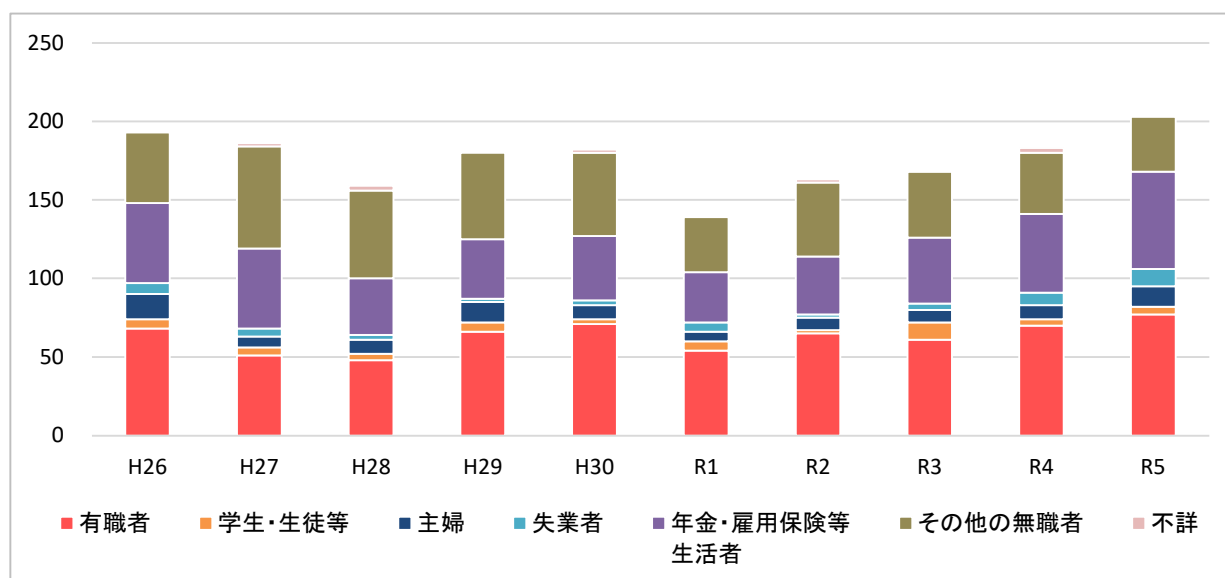
本市の職業別の自殺者数をみると、全体の約6割を無職者が占めています。無職者の中では、令和2年以降、年金・雇用保険等生活者が増加しています。また、令和4年以降は、有職者の自殺者数が増加しています。学生・生徒等の自殺者数は令和3年に大きく増加しましたが、その後は減少し、横ばいの状況です。

【北九州市の職業別自殺者数の推移】

(単位:人)

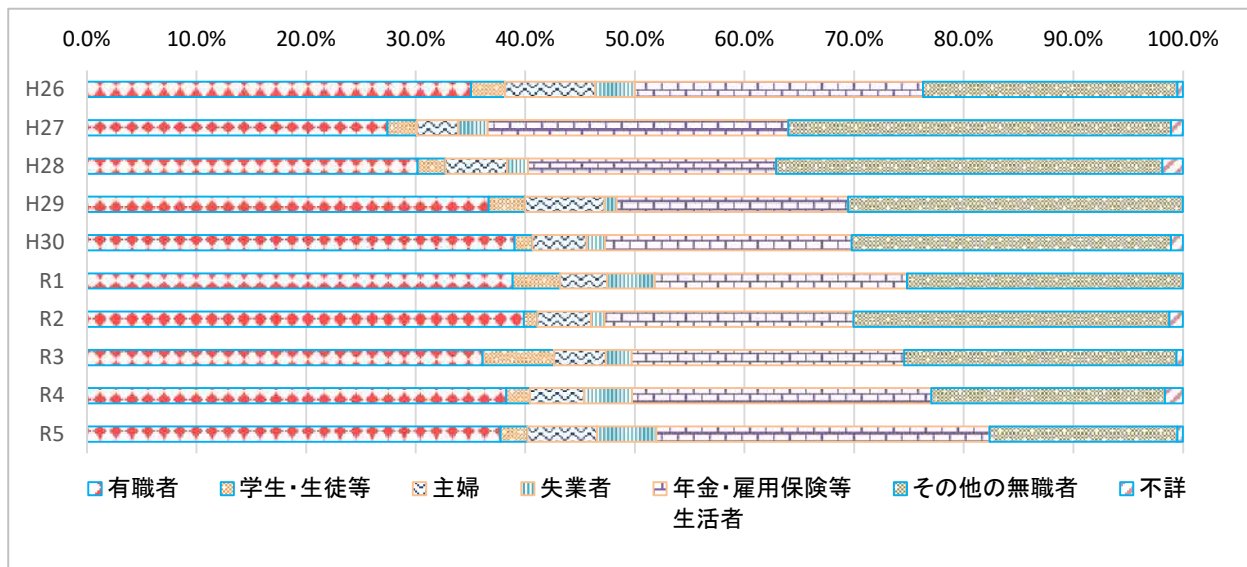
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
有職者	68	51	48	66	71	54	65	61	70	77
無職者	119	128	104	108	106	79	94	96	106	121
主婦	16	7	9	13	9	6	8	8	9	13
失業者	7	5	3	2	3	6	2	4	8	11
年金・雇用保険等生活者	51	51	36	38	41	32	37	42	50	62
その他の無職者	45	65	56	55	53	35	47	42	39	35
学生・生徒等	6	5	4	6	3	6	2	11	4	5
不詳	1	2	3	0	2	0	2	1	3	1
計	194	186	159	180	182	139	163	169	183	204

※「有職者」…令和4年に自殺統計原票が見直されたため、令和3年以前の「自営業・家族従業者」「被雇用・勤め人」を合算した。



※「有職者」…令和4年に自殺統計原票が見直されたため、令和3年以前の「自営業・家族従業者」「被雇用・勤め人」を合算した。

【北九州市の職業別自殺者数構成割合】



※「有職者」・・・令和 4 年に自殺統計原票が見直されたため、令和 3 年以前の「自営業・家族従業者」「被雇用・勤め人」を合算。

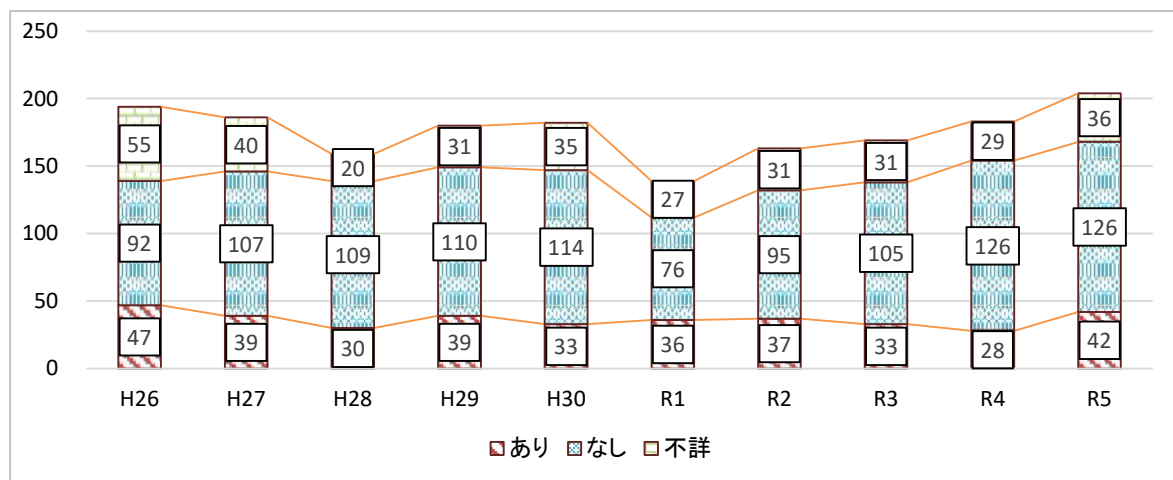
⑦自殺者の自殺未遂経験の有無 [単年の変化]

本市の自殺者のうち、自殺未遂の経験がある人は、概ね 20%前後で推移しています。

【北九州市の自殺未遂歴の有無の構成割合】

(単位:人)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
あり	47	39	30	39	33	36	37	33	28	42
なし	92	107	109	110	114	76	95	105	126	126
不詳	55	40	20	31	35	27	31	31	29	36
計	194	186	159	180	182	139	163	169	183	204



⑧年代別の原因・動機の構成割合

本市の自殺者における原因・動機は、健康問題が最も多くなっていますが、他に、経済・生活問題や、家庭問題、勤務問題、交際問題等、様々な理由から自殺に追い込まれています。

【北九州市の年代別の原因・動機構成割合（R4-R5の平均）】

※出典：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計したものを基に本市で作成

	健康問題	経済・生活問題	家庭問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
全体	40.6%	19.0%	16.1%	10.5%	1.3%	1.4%	6.5%	4.5%
20歳未満	21.4%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	42.9%	7.1%	7.1%
20代	31.6%	15.8%	10.5%	13.2%	2.6%	5.3%	13.2%	7.9%
30代	37.0%	22.2%	16.0%	13.6%	2.5%	0.0%	6.2%	2.5%
40代	30.3%	27.5%	15.6%	18.3%	1.8%	0.0%	2.8%	3.7%
50代	34.0%	24.5%	17.9%	11.3%	1.9%	0.0%	5.7%	4.7%
60代	47.8%	14.9%	14.9%	13.4%	0.0%	0.0%	6.0%	3.0%
70代	49.3%	14.5%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.6%	7.2%
80歳以上	64.7%	5.9%	19.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	4.4%

